

令和 8 年度長崎県公立学校  
教員採用選考第 1 次試験問題

教科・科目

中学 数学

受験番号

氏名

実施日 令和 7 年 5 月 11 日 (日)

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験

## 中学数学

\*解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。ただし、①は答えのみを明記し、②以外は特に指示がない限りは答えのみではなく、答えに至る過程も明記すること。

1

次の各問いに答えよ。

問1  $\sqrt{108n}$  が自然数となる自然数  $n$  のうち小さい方から3番目の数を求めよ。

問2  $N$  は4桁の自然数で  $N \pmod{3} \equiv 1$ 、 $N \pmod{5} \equiv 3$  を満たしている。このような自然数  $N$  のうち、最大のものを求めよ。

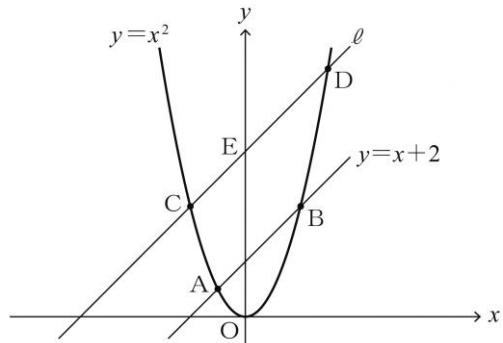
問3  $\frac{67}{91} = 0.\overline{736263}$  である。 $\frac{67}{91}$  を小数で表したとき、小数第1位から小数第100位までに現れるすべての数の和を求めよ。

問4 白色のビーズがたくさん入った袋がある。この袋の中からコップ1杯のビーズを取り出すと、126個のビーズが取り出された。取り出した白色のビーズのかわりに同じ個数の黒色のビーズを袋に戻し、よくかき混ぜてから、別のコップでコップ1杯のビーズを取り出したところ、白色が80個と黒色が18個取り出された。最初、この袋の中に入っていたと推定される白色のビーズの個数を求めよ。

問5 赤玉3個、白玉7個が入っている袋Aと、赤玉4個、白玉6個が入っている袋Bがある。この袋のどちらか一方の袋を無作為に選んで、その袋から2個の玉を取り出す。取り出した玉が2個とも赤玉であったとき、袋Aから赤玉2個を取り出した確率を求めよ。

2

図のように放物線  $y=x^2$  と直線  $y=x+2$  の交点を A、B とし、直線  $y=x+2$  に平行で点  $(-3, 3)$  を通る直線  $\ell$  と放物線  $y=x^2$  との交点を C、D、直線  $\ell$  と  $y$  軸との交点を E とする。原点を O とするとき、次の各問いに答えよ。



問1  $x$  の値が  $a$  から  $a+3$  まで変化するときの放物線  $y=x^2$  と直線  $y=x+2$  の変化の割合が等しいとき、 $a$  の値を求めよ。

問2 交点A、Bの座標を求めよ。

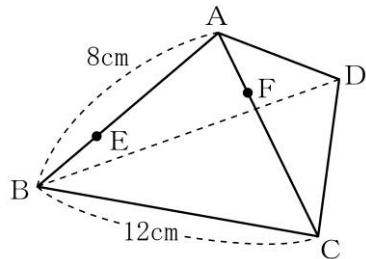
問3  $\triangle COE : \triangle DOE$  を求めよ。

問4 点Aを通り、 $\triangle ACD$ の面積を二等分する直線の式を求めよ。

問5 四角形ABDCの面積を求めよ。

3

図のような  $A B = A C = A D = 8\text{ cm}$ 、 $B C = C D = D B = 12\text{ cm}$  である正三角錐がある。  
辺  $A B$ 、 $A C$  上の点を  $E$ 、 $F$  とするとき、次の各問いに答えよ。



問1 頂点Aから $\triangle B C D$ にひいた垂線の長さを求めよ。

問2 頂点Dから $\triangle A B C$ にひいた垂線の長さを求めよ。

問3  $A E = A F$  であるとき  $\triangle A E F \sim \triangle A B C$  であることを証明せよ。

問4  $A E = A F = 4\text{ cm}$  であるとき、立体D-EBCFの体積を求めよ。

問5  $A E = C F$  となる点E、Fに対して、立体D-EBCFの体積が  $39\sqrt{3}\text{ cm}^3$  となるとき、  
 $A E$  の長さをすべて求めよ。

4

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ 、 $\sin \theta + \cos \theta = t$  とするとき、次の各問いに答えよ。

問1  $\theta = 45^\circ$  のときの  $t$  の値を求めよ。

問2  $\sin \theta \cos \theta$  を  $t$  の式として表せ。

問3  $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$  を解とする  $x$  に関する 2 次方程式を 1 つ答えよ。ただし、 $\theta$  を用いない形の式で答えること。

問4 問3で作った 2 次方程式が実数解をもつとき、 $t$  の範囲を求めよ。

問5  $f(\theta) = -6(\sin \theta + \cos \theta) + 5\sin \theta \cos \theta$  の最大値と最小値とそのときの  $t$  の値を求めよ。

5

10人の生徒を対象に数学と英語のテストを実施した。次は数学の得点のデータである。次の各問い合わせよ。

2、7、10、2、7、3、8、6、6、9

問1 図は、数学の得点のデータを箱ひげ図に表したものである。図中の①、②、③の値を求めよ。



問2 数学の得点の分散を求めよ。

問3 英語の得点の分散が5で、数学と英語の得点の共分散が4.32であったとき、数学の得点と英語の得点の相関係数を求めよ。

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

1

20点（各4点）

問1	27
問2	9988
問3	450
問4	686（個）
問5	$\frac{1}{3}$

中学 数学	受験 番号		氏名
----------	----------	--	----

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

2

20点(各4点)

問1	$\frac{(a+3)^2 - a^2}{a+3-a} = 1 \quad \text{より、}$ $6a + 9 = 3$ $\therefore a = -1$
問2	$x^2 = x + 2 \quad (x-2)(x+1) = 0 \quad \therefore x = 2, -1$ <p>よって、交点の座標は、  <math>A(-1,1), B(2,4)</math></p>
問3	<p>直線<math>\ell</math>は、傾きが1で点<math>(-3,3)</math>を通るので、      直線<math>\ell</math>の式は、<math>y = 1 \cdot (x+3) + 3 = x + 6</math></p> <p>点C、Dの<math>x</math>座標は、  <math>x^2 = x + 6 \quad (x+2)(x-3) = 0 \quad \therefore x = -2, 3</math>  <math>\triangle COE : \triangle DOE = 2 : 3</math></p>
問4	<p>点C、Dの座標は、<math>(-2,4), (3,9)</math>      C、Dの中点の座標は、<math>\left(\frac{1}{2}, \frac{13}{2}\right)</math></p> <p>よって、求める直線の式は、</p> $y = \frac{\frac{13}{2} - 1}{\frac{1}{2} - (-1)}(x+1) + 1 = \frac{11}{3}x + \frac{14}{3}$
問5	<p>CBは<math>x</math>軸に平行なので、      点DよりCBに下した垂線の長さは5      点AよりCBに下した垂線の長さは3      また、<math>CB = 4</math></p> <p>よって、四角形<math>ABDC = \frac{1}{2} \times 4 \times (5+3) = 16</math></p> <p>別解</p> <p>点Aから直線<math>\ell</math>に下した垂線の長さは、</p> $\frac{ -1 - 1 + 6 }{\sqrt{1^2 + (-1)^2}} = \frac{4}{\sqrt{2}}$ $AB = \sqrt{3^2 + 3^2} = 3\sqrt{2}, CD = \sqrt{5^2 + 5^2} = 5\sqrt{2}$ <p>四角形<math>ABDC</math>は台形なので、面積は、</p> $\frac{1}{2} \times (5\sqrt{2} + 3\sqrt{2}) \times \frac{4}{\sqrt{2}} = 16$

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

3

20点(問1 3点、問2～問3 各4点、問4 3点、問5 6点)

問1	<p>頂点Aから<math>\triangle BCD</math>に引いた垂線をAPとし、      BPの延長線と辺CDとの交点Hとする  <math>\triangle BCD</math>は一辺の長さが12の正三角形なので、</p> $BH = 6\sqrt{3}$ <p>Pは正三角形BCDの重心と一致するので</p> $\therefore BP = \frac{2}{3} \times 6\sqrt{3} = 4\sqrt{3}$ $AP = \sqrt{8^2 - (4\sqrt{3})^2} = 4 \text{ (cm)}$
問2	<p>正三角錐A-BCDの体積は</p> $\frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 12 \times 6\sqrt{3} \times 4 = 48\sqrt{3}$ <p>また、Aから辺BCにおろした垂線の足をQとすると、</p> $AQ = \sqrt{8^2 - 6^2} = 2\sqrt{7}$ <p>よって、<math>\triangle ABC = \frac{1}{2} \times 12 \times 2\sqrt{7} = 12\sqrt{7}</math></p> <p>したがって、底面を<math>\triangle ABC</math>としたときの      三角錐A-BCDの高さをhとすると、</p> $\frac{1}{3} \times 12\sqrt{7} \times h = 48\sqrt{3} \quad \therefore h = \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}} = \frac{12\sqrt{21}}{7} \text{ (cm)}$
問3	<p><math>\triangle AEF</math>と<math>\triangle ABC</math>において、  <math>AB = AC</math>、<math>AE = AF</math>より、<math>AE:AB = AF:AC</math>  <math>\angle EAF = \angle BAC</math>(共通)      2組の辺の比と、その間の角がそれぞれ等しいので  <math>\triangle AEF \sim \triangle ABC</math></p>

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

問 4	<p><math>AE = AF</math> より、<math>\triangle AEF \sim \triangle ABC</math></p> <p><math>AE:AB = 1:2</math> なので、<math>\triangle AEF : \triangle ABC = 1:4</math></p> <p><math>\therefore</math> 四角形 EBCF = <math>\frac{3}{4} \times \triangle ABC = 9\sqrt{7}</math></p> <p>よって、立体 D-EBCF の体積は、  <math>\frac{1}{3} \times 9\sqrt{7} \times \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}} = 36\sqrt{3}</math> (cm<sup>3</sup>)</p>
問 5	<p><math>AE = x</math> とおくと、<math>AF = 8 - x</math> (ただし、<math>0 &lt; x &lt; 8</math>)</p> <p><math>AE:AB = x:8</math>、<math>AF:AC = (8-x):8</math> より、</p> $\triangle AEF = \frac{x}{8} \times \frac{8-x}{8} \times \triangle ABC$ $\text{四角形 EBCF} = \left(1 - \frac{8x - x^2}{64}\right) \times \triangle ABC$ $= \frac{64 - 8x + x^2}{64} \times 12\sqrt{7}$ $= \frac{3(x^2 - 8x + 64)}{16} \sqrt{7}$ <p>よって、立体 D-EBCF の体積は、</p> $\frac{1}{3} \times \frac{3(x^2 - 8x + 64)}{16} \sqrt{7} \times \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}}$ $= \frac{3(x^2 - 8x + 64)\sqrt{3}}{4}$ <p>したがって、<math>\frac{3(x^2 - 8x + 64)\sqrt{3}}{4} = 39\sqrt{3}</math></p> $x^2 - 8x + 12 = 0$ $(x-2)(x-6) = 0$ <p><math>\therefore x = 2, 6</math></p> <p><math>0 &lt; x &lt; 8</math> をみたす</p> <p>よって、<math>AE = 2\text{cm}, 6\text{cm}</math></p>

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

別解

 $0 < x < 1$  として、AE:AB =  $x:1$  とおくと

$$AF:AC = (1-x):1$$

$$\triangle AEF = x(1-x) \times \triangle ABC$$

$$\text{四角形 EBCF} = \{1 - x(1-x)\} \times \triangle ABC$$

$$= 12(x^2 - x + 1) \sqrt{7}$$

よって、立体 DEBCF の体積は、

$$\frac{1}{3} \times 12(x^2 - x + 1) \sqrt{7} \times \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}}$$

$$= 48(x^2 - x + 1) \sqrt{3}$$

$$\text{したがって、} 48(x^2 - x + 1) \sqrt{3} = 39\sqrt{3}$$

$$16x^2 - 16x + 3 = 0$$

$$(4x - 1)(4x - 3) = 0$$

$$\therefore x = \frac{1}{4}, \frac{3}{4}$$

 $0 < x < 1$  をみたす

よって、AE = 2cm、6cm

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

4

20点（問1 2点、問2 3点、問3 4点、問4 6点、問5 5点）

問1	$\begin{aligned} t &= \sin 45^\circ + \cos 45^\circ \\ &= \frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{\sqrt{2}}{2} \\ &= \sqrt{2} \end{aligned}$
問2	$\begin{aligned} \sin \theta + \cos \theta = t \quad \text{の両辺を二乗すると} \\ \sin^2 \theta + 2 \sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta = t^2 \\ \therefore \sin \theta \cos \theta = \frac{t^2 - 1}{2} \end{aligned}$
問3	$\begin{aligned} \sin \theta + \cos \theta = t, \quad \sin \theta \cos \theta = \frac{t^2 - 1}{2} \quad \text{なので、} \\ \text{解と係数の関係より} \\ \sin \theta, \cos \theta \text{を解とする } x \text{に関する2次方程式は} \\ x^2 - tx + \frac{t^2 - 1}{2} = 0 \\ \therefore 2x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 0 \end{aligned}$

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

問 4	<p><math>0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ</math> より、<math>0 \leq \sin \theta \leq 1</math>、<math>0 \leq \cos \theta \leq 1</math></p> <p><math>2x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 0</math> は <math>0 \leq x \leq 1</math> に 2 個の解をもつ。</p> <p>したがって、</p> $g(x) = 2x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 2\left(x - \frac{t}{2}\right)^2 + \frac{t^2}{2} - 1$ <p>とおくと、</p> $\begin{cases} g(0) = t^2 - 1 \geq 0 \\ g(1) = t^2 - 2t + 1 \geq 0 \\ 0 \leq \frac{t}{2} \leq 1 \\ \frac{t^2}{2} - 1 \leq 0 \end{cases}$ <p><math>1 \leq t \leq \sqrt{2}</math></p>
問 5	$\begin{aligned} f(\theta) &= -6(\sin \theta + \cos \theta) + 5 \sin \theta \cos \theta \\ &= -6t + 5\left(\frac{t^2 - 1}{2}\right) \\ &= \frac{5}{2}t^2 - 6t - \frac{5}{2} = \frac{5}{2}\left(t^2 - \frac{12}{5}t\right) - \frac{5}{2} \\ &= \frac{5}{2}\left(t - \frac{6}{5}\right)^2 - \frac{18}{5} - \frac{5}{2} \\ &= \frac{5}{2}\left(t - \frac{6}{5}\right)^2 - \frac{61}{10} \end{aligned}$ <p><math>1 \leq t \leq \sqrt{2}</math> より、<math>t = \frac{6}{5}</math> のとき、最小値 <math>-\frac{61}{10}</math></p> <p><math>t = \sqrt{2}</math> のとき、最大値 <math>\frac{5 - 12\sqrt{2}}{2}</math></p>

中学 数学	受験 番号		氏名
----------	----------	--	----

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

5

20点（問1 各3点、問2 6点、問3 5点）

問1	数学の得点を低い点数順に並びかえると、  2、2、3、6、6、7、7、8、9、10  ①は最小値なので、2  ②は第1四分位数なので、3  ③は中央値なので、5番目と6番目の点数の平均である。  よって、 $(6+7) \div 2 = 6.5$  ① 2      ② 3      ③ 6.5
	平均は、  $\frac{2+2+3+6+6+7+7+8+9+10}{10} = 6$  分散は、  $\begin{aligned} & \frac{(2-6)^2 + (2-6)^2 + (3-6)^2 + (6-6)^2 + (6-6)^2 + (7-6)^2 + (7-6)^2 + (8-6)^2 + (9-6)^2 + (10-6)^2}{10} \\ &= \frac{16+16+9+0+0+1+1+4+9+16}{10} \\ &= \frac{72}{10} \\ &= 7.2 \end{aligned}$
問2	別解  平均は、  $\frac{2+2+3+6+6+7+7+8+9+10}{10} = 6$  2乗の平均は、  $\frac{2^2 + 2^2 + 3^2 + 6^2 + 6^2 + 7^2 + 7^2 + 8^2 + 9^2 + 10^2}{10} = 43.2$  分散は、  $43.2 - 6^2 = 7.2$
問3	$\frac{4.32}{\sqrt{7.2} \times \sqrt{5}} = \frac{4.32}{\sqrt{36}} = 0.72$